

「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」報告書
『子ども森林インストラクター推進プロジェクト』
(一社)日本森林インストラクター協会・関東支部・神奈川地区

【事業のポイント】

- 原始的な火起こしを体験する。
- 野外での調理を体験する。

1.事業の趣旨

(1) 趣旨

- ① まいぎり式火起こし器を使って、原始的な火の起こしを体験する。
- ② 野外調理の体験(肉や野菜を焼く、パン生地を作って焼く)をする。

2.実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

関東支部長：田川裕則

神奈川地区委員：渡邊英夫(安全管理担当兼務)

神奈川地区事務局：中澤均

指導者：宇佐美良徳、角田昌司、梶浦雄介、久保典子、辻真澄、藤川大司、松山成二

(2) 開催実績

月日：令和2年11月1日(日)

場所：南足柄市 森林公園「丸太の森」

参加者数：小学生13名(小1～6)、付添い保護者3名、
指導者9名、総勢25名

日帰り/宿泊：日帰り(午前10時～午後3時)

- 主な活動：① まいぎり式による火起こし体験
② 野外クッキングⅠ(バーベキュー)
③ 野外クッキングⅡ(ねじねじパン)

(3) 具体的な取組の概要

集合場所：南足柄市・足柄森林公園 丸太の森 駐車場

9:30 集合、キャンプ場へ移動、オリエンテーション、材料配布と準備

・受付時に、体温測定(検温)し、事前アンケートを記入してもらう。

・全体オリエンテーション(スケジュールと活動の概要説明)をする。

・参加者16名(保護者3名含む)を4名/班の4班に分け、班ごとに自己紹介、指導者が引率してキャンプ場まで約1kmを徒歩移動。

10:30 火起こし体験 薪へ点火

・班ごとのBBQカマドにて、指導者(松山、梶浦、渡邊)からマイギリ式火起こし器による火起こし方法を説明。

・班ごとに火起こしを体験。(目標:野外クッキングのBBQに使う火を起こす。)

11:30 野外炊事（メニュー:BBQ、ねじねじパン）

- ① BBQ: (a)豚肉を細かく切りながら焼き、キャベツ・モヤシを加えて焼き、焼きそばを作成。
(b)豚肉・ピーマン・たまねぎ・かぼちゃ・しいたけ・ニンジン・等を焼く。

- ② ねじねじパン: 小麦粉・ベーキングパウダー・塩・砂糖に牛乳を加えて、パン生地を捏ねて作り、篠竹の棒にパン生地を巻きつけて、カマドの火に炙って焼き上げる。

14:00 片づけ

- ・BBQ で使用した鉄板や、ねじねじパンで使用したボウルを洗浄し、返却する。
- ・使用したカマドとその周囲を清掃する。

14:30 振り返り

- ・事後アンケートを記入してもらう。

15:00 丸太の森・駐車場にて、解散

- ・班ごとに指導者が引率して解散場所の駐車場まで徒歩移動する。
- ・アンケートを回収し、第2回以降の案内をして、参加者を保護者に引渡して、解散。
- ・指導者は、参加者解散後に当日の振り返り、まとめを実施して解散。

3.成果と課題

(1) 事業の成果と課題

① 火起こし体験

- ・約1時間をかけて、参加者に火起こしをチャレンジしてもらったが、残念ながら、着火まで至らなかった。
- ・参加者は皆、一生懸命に火起こしに取り組んでいた。
- ・着火までできなかったが、火起こしの要領がわかった子が他の子にも教えてあげる、等、参加者同士での情報共有が自然にできていた。
- ・参加者には、是非、着火まで体験して欲しかったので、着火し易くする工夫を更に研究したい。(火起こしの芯の素材が柔らかすぎるとすり減りが早かった、等の反省があり、より一層の工夫をしたい、等)

② 野外クッキング

(a) バーベキュー

- ・昼食を兼ねてのバーベキューで、好評だった。
- ・プラトレイを燃やした子がいて、黒い煙と臭い匂いを体験し、プラスチックを燃やすと良くないことを実体験して理解した様子だった。

(b) ねじねじパン

- ・パン生地を捏ねる作業に、集中していた。
- ・パンを焼く際には、参加者が一人一人、カマドに棒をかざして焼いていて、和気あいあいとできた。
- ・ねじねじパンのイメージを事前に共有できていなかったのも、棒に巻きつけるパン生地の適量な分量が始めはわからなかった。簡単なねじねじパンの解説資料(説明図や写真など)があれば良かった。
- ・ねじねじパンは好評で、自宅へのお土産にする子もいた。

③ 総括

- ・火を使用したり、森林内のキャンプ場で木の根が張り出しているような場所だったが、事故もなく無事に終了できた。
- ・火起こしで着火まで出来なかったことで、全体の進行がタイトになり、事後アンケートでの各参加者の感想を共有する場を省略してしまったことが悔やまれる。参加者が行事の活動の中で感じたこと、体験したこと、気づいたこと、などを共有して、参加者同士でその気づきを更に広げることが体験学習の重要な効果でもあり、次回以降はしっかりと取り組みたい。
- ・低学年(1年生)の参加者は、対応が難しい場合があった。しっかりと自立している子、ちょっとしたきっかけで拗ねてしまう子、等のバラツキの大きかった。
- ・高学年になると、同じ学校の子たちでグループにすると、既にリーダー格の子がいてチームができていた場合もあった。

4.団体プロフィール

・団体概要

(一社)日本森林インストラクター協会 関東支部 神奈川地区

(一社)日本森林インストラクター協会に所属する森林インストラクターを中心に、NPO 法人・全国森林インストラクター神奈川会の協力、了解を得て、メンバーを構成。他に、森林インストラクターを目指すメンバー1名も加えて、全12名(支部長、地区委員を含む)の指導者(R2年11月1日現在)。

・連絡先 地区委員: 渡邊英夫 hwatana@mvi.biglobe.ne.jp 携帯電話 080-5028-9661

・施設

第1回事業では、南足柄市足柄森林公園「丸太の森」利用

足柄森林公園 丸太の森 管理事務所 〒250-0121 神奈川県 南足柄市 広町 1544

TEL 0465-74-4510 FAX 0465-74-4503 E-mail: maruta@k-mask.jp

5.写真

(1) 活動写真(キャプション付)



(写真1) 火起こし



(写真2) 火起こしの火口(ほくち)材作り



(写真3) ねじねじパン生地を捏ねる



(写真4) ねじねじパン生地を捏ねる



(写真5) パン生地



(写真6) ねじねじパン焼き

(2) 団体写真(キャプション付)



(写真 7) 参加者に次回を説明

(2020年11月1日、地区委員:渡邊報告)

以上